

令和元年度まちづくり懇談会意見交換要旨（芸北会場）

質 問	回 答
千代田地域づくりセンターの建て替え工事について、今後の利用方法について現時点でどのような構想であるのか。	<p>【企画課】</p> <p>現在着工している千代田地域づくりセンターの使い方については、昨年度、地域づくりセンターの基本計画を策定し、活用についてワークショップなどを開催して検討をしてきた。現在は商工会などとも話をして、子育て世代など若い世代の方も含め使い方について検討している。</p> <p>地域づくりセンターは公民館の機能とまちづくりセンターの2つの機能で運用し、まちづくりセンターの機能としては、起業についての情報交換の場、コワーキングスペースを持たせていくことも考えており、今後のまちづくりについて考えていく場にしていきたい。</p> <p>道の駅やショッピングセンター、役場、病院との近接性を活用して、「町のにわ」として位置づけ、人の流れや人の集まりを通した新たな取り組みが生まれる場にしていきたいと考えている。</p>
芸北地域における放課後児童クラブの運営について、芸北地域のため人員の確保など行ってきた。今後、子供の数が減少していくが、そのような状況でも運営を行っていくのか。	<p>【生涯学習課】</p> <p>放課後児童クラブについては、アンケート調査も行い、保護者の方のニーズもあると考えている。地理的な条件なども考えると子供の数は少なくなっていくが、保護者の方が安心して預ける場所が必要であり、継続して運営をお願いしたいと考えている。</p>
芸北つくし保育園の現状についてどのようになっているのか。	<p>【福祉課】</p> <p>芸北つくし保育園については、一昨年、さつきヶ丘こども園と芸北つくし保育園の保護者等に説明会を実施して、今年度民営化に向け、プロポーザル方式で運営事業者の公募を町内で保育園の運営を行っている事業者を対象に行ったが応募者がなかった。それを踏まえ、芸北つくし保育園は来年度も引き続き町立の保育園として運営を行っていく。保育所の民営化については、子供の人数が減少していることなども踏まえて引き続き考えていきたい。</p>
芸北で行う行事等への参加者が少ないといった状況において、個人で情報発信をしているが、今後どのように情報発信を行っていくのか。	<p>【芸北支所】</p> <p>地域における行事等における情報発信のあり方について、現在きたひろネットや防災無線等を活用して情報発信を行っているが、行事への参加者が少ないなどの現状も踏まえ、情報発信のあり方については、地域の方とも一緒になって考えていきたい。</p>
紅葉シーズンで八幡に訪れる人が多くいるが、北広島町の観光マップなどの地図が町内しか	<p>【商工観光課】</p> <p>広域的な観光マップについて、サイクリングマップやツーリング、スキー、JAF などそれぞれ広域</p>

<p>掲載されておらず、安芸太田町の記載がないので観光客への説明がしにくいという声がある。</p>	<p>的な観光マップがあるが、きたひろ Drive については町内の観光マップとしての位置づけであり、町内が中心となったマップとなっている。広域的な情報をまとめることは難しいが、現在、観光協会と安芸太田町と安芸高田市と連携して広域的な観光マップを作成しており、観光施設等で活用していただきたい。</p>
<p>SDGs の取り組みについて、町としてどのように取り組んでいくのか。</p>	<p>【町長】 SDGs の取り組みは世界的な取り組みとして、飢餓の問題や貧困や環境の問題など人類が抱えている課題を 17 項目に分類して、持続可能な社会の実現に向けた取り組みである。本町としても今後 SDGs の取り組みを進めていくため、協議会に参画している。具体的な取り組みについては、すでに取り組んでいるものもあり、今後町民と一体となり取り組みを進めていきたい。</p>
<p>行政区の再編について、町内の行政区を見ると人数の多い行政区とそうでない行政区がある。今後、行政区の見直しを行う予定はあるのか。</p>	<p>【総務課】 行政区ごとに世帯数にばらつきがあり、世帯数が一桁代の行政区もある。それぞれの地域においてこれまでの習わしやつながりがあり、行政として積極的に行政区を再編することは現時点では考えていない。しかし、行政区の世帯や人数が少なくなっているという課題もあり、地域における活動なども考慮する必要があるため、区長会などを通して意見を聞くなど、行政区の再編について考えていきたい。</p>